

令和元年度 DV 対策事業

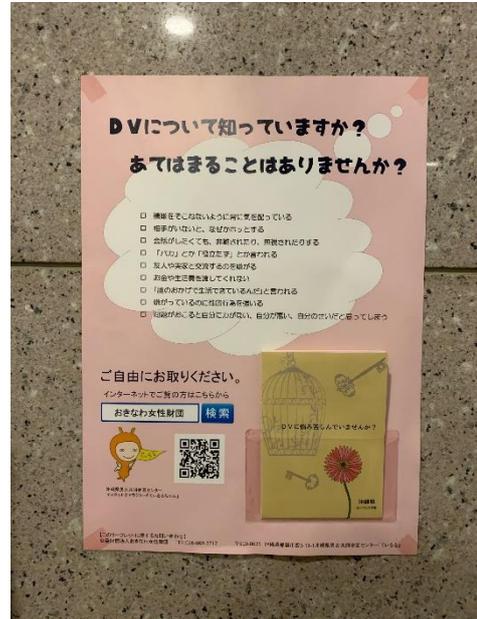
# 事業報告書

## 【「女性に対する暴力をなくす運動」 広報啓発DVミニポスターと被害者支援リーフレット】

期間	令和元年 11 月下旬～12 月下旬頃																					
概要	<p>平成 28 年度に作成した「DV被害者支援リーフレット」を入れるポケット付きミニポスターの作成及び配布を行った。</p> <p>【目的】 女性に対する暴力の問題、女性の人権の尊重のために意識啓発を図るとともに、被害を受けた場合等の相談窓口を周知する。県民に身近なコンビニなどに啓発資料等を設置することで、幅広い年代層への啓発を進める。</p> <p>【期間】 令和元年 12 月末頃まで（リーフレットがなくなり次第チラシを剥がす） ※運動期間は毎年 11 月 12 日から 11 月 25 日（女性に対する暴力撤廃国際日）までの 2 週間。</p> <p>【設置方法】 設置場所：女性用トイレ（個室内を希望） 設置方法：「A 4 サイズのポケットつきミニポスター」と「DV被害者支援リーフレット」を配布し、各店舗に掲示。 カードをセットして、トイレの壁面等に設置。</p> <p>【配布物】 ①広報リーフレット設置用ミニポスター 1 種類 ②広報リーフレット 1 種類（各 7 枚）</p> <p>【配布場所】</p> <table><tr><td>●イオン</td><td>45 店舗×2 セット</td><td>計 90 セット</td></tr><tr><td>●かねひで</td><td>スーパー 59 店舗×2 セット</td><td>計 118 セット</td></tr><tr><td></td><td>リゾート 4 店舗×4 セット</td><td>計 16 セット</td></tr><tr><td>●サンエー</td><td>100 店舗</td><td>225 セット 計 225 セット</td></tr><tr><td>●セブンイレブン</td><td>18 店舗×1 セット</td><td>計 18 セット</td></tr><tr><td>●ファミリーマート</td><td>326 店舗×1 セット</td><td>計 326 セット</td></tr><tr><td>●ローソン</td><td>237 店舗×1 セット</td><td>計 237 セット</td></tr></table> <p style="text-align: right;">合計 1030 セット</p> <p>【事業の成果】 （公財）おきなわ女性財団、女性相談室の「暴力（DV）」についての相談件数 平成 28 年度 345 件 平成 29 年度 451 件</p>	●イオン	45 店舗×2 セット	計 90 セット	●かねひで	スーパー 59 店舗×2 セット	計 118 セット		リゾート 4 店舗×4 セット	計 16 セット	●サンエー	100 店舗	225 セット 計 225 セット	●セブンイレブン	18 店舗×1 セット	計 18 セット	●ファミリーマート	326 店舗×1 セット	計 326 セット	●ローソン	237 店舗×1 セット	計 237 セット
●イオン	45 店舗×2 セット	計 90 セット																				
●かねひで	スーパー 59 店舗×2 セット	計 118 セット																				
	リゾート 4 店舗×4 セット	計 16 セット																				
●サンエー	100 店舗	225 セット 計 225 セット																				
●セブンイレブン	18 店舗×1 セット	計 18 セット																				
●ファミリーマート	326 店舗×1 セット	計 326 セット																				
●ローソン	237 店舗×1 セット	計 237 セット																				

平成 30 年度 861 件 (DV ミニポスター掲示開始)  
 前年比 194.6%と 2 倍近くなっています。要因としてポスター掲示などの啓発活動により、  
 広義の暴力が周知されてきたことで、相談内容も具体的になり、経済的暴力、精神的暴力など  
 の暴力が表面化してきたことがあげられる。  
 平成 31 年度 645 件 (H31.4~R1.12 までの 9 か月)

写真



主催 沖縄県・公益財団法人おきなわ女性財団